

松ほっくり

2007年 秋号

国松石材株式会社

発行所/国松石材株式会社

本社 福岡市博多区下呉服町8-35

営業本部 粕屋郡志免町南里11-5

TEL 092-957-3500/FAX 092-957-3505

墓石ガーデン 福岡市東区香椎472-3 (三日月山霊園下)

TEL 092-672-7257/FAX 092-672-7258

工場 福岡市東区松田3-16-12

TEL 092-629-1189/FAX 092-629-2043

ホームページ <http://www.kunimatu.com>

勤王歌人 きんのうかしん

野村望東尼

今回は、幕末の激動の中を生き抜いた女流歌人・野村望東尼の軌跡をたどっていききたいと思います。



◆野村望東尼胸像・平尾山荘に設置されています。

○出生と結婚

野村望東尼(二俗名モト)は、文化三(一八〇六)年九月六日、黒田藩士浦野勝幸の三女として、福岡のおんまのうしろ御殿後(現在の六本松三丁目附近)で生まれました。福岡県護国神社近く、赤坂三丁目と六本松三丁目の境界線にあたる位置には、野村望東尼誕生之地碑があります。彼女は、十三才のころ行儀見習いとして家老の林家に入り、十七才のときに結婚しますが、半年余りで離婚し、二十四才のとき、野村貞實と巡り会い、再婚しました。

望東尼と貞實はともに歌が好きでした。望東尼が二十七才のときに、幕末の三大歌人の一人として知られる福岡出身の大隈言道ことみちに入門し、和歌を学び始めました。望東尼四十才のとき、貞實の花鳥風月を友に自適の生活を送りたいという希望により、家督を長男に譲り、当時の平尾村の向の岡むかいに山荘を作り、隠居したそうです。今も残る平尾山荘は、そのゆかりの地になります。



◆野村望東尼誕生之地碑

○山荘時代

山荘での夫婦の生活は、おおむね平穏だったようです。夫妻は自らの手で、庭に桜、梅、楓などを植え、池を掘った庵には言道やその門人たちがしばしば訪れ、風流な歌会が催されていたといわれています。山荘



◆現在の平尾山荘です。

近隣はお洒落な住宅街ですが、ここには、望東尼が愛した緑豊かな自然が残っています。

時代の生活は、望東尼の代表的な歌集のひとつ『向陵集』こうりょうしゅうからもたどることが出来ます。この歌集は、望東尼が二十七才の(言道に入門した)時から六十才までに詠んだ歌が集められています。歌数は一八〇〇首余り。その中には、花鳥風月を友にした風雅はもとより、夫婦間のこと、家族の関係などが詳しく、しかも巧みに詠み描かれています。しかしそんな平穏な生活は長くは続かず、夫 貞實の死によって終止符を打つこととなります。望東尼が五十四才のときでした。このころ、望東尼も病床にあり、次の歌を詠んでいます。「もろともに ながきやまひに ふせるまは われもやさきと おもひしものを」(あなたと一緒に長い間、病に伏せていたときは、私のほうが先に死ぬのだろうと思っていたのに、あなたが先に旅立ってしまうなんて)

○勤王の道へ

貞實亡き後、望東尼の生活は大きく変化していきました。貞實の初七日が済むと、博多の明光寺で得度剃髪し、『招月望東禪尼』という法名を授かりました。

一八六一年には、宿願だった上京を果たします。上京によって、望東尼は愛国精神の自覚を強めました。貞實と死別するまでは、女流歌人としての生活でしたが、京都の地を踏み、御所を拝観し、京都に集う諸国の志士との交流を深めました。多感な望東尼は、世の中の情勢に敏感に反応し、志士たちの影響を深く受けました。

福岡に帰った望東尼の元には京都の情勢を聞こうと、平野國臣をはじめ、筑前の勤王の志士たちが来訪するようになりました。このころから、平尾山荘は幕末の志士たちの隠れ家となりました。長州の高杉晋作も一時難を逃れて、山荘に潜伏していたそうです。

○姫島に流罪

一八六五年、福岡藩は勤王派を一気に弾圧して処刑しました。六十才だった望東尼も玄界灘に浮かぶ志摩町の小島・姫島へ流刑となりました。板壁も土壁もなく、松の角材で荒格子が組まれているだけの粗末な牢で過酷な日々を過ごしたようです。そんな望東尼の身の上を知った高杉晋作は、かつての恩義に報いるため、姫島に救出の手配をし、望東尼を脱獄させました。

○望東尼の最期

その後、望東尼は下関で晋作と再会しますが、皮肉にも晋作の体は病魔に侵されており、翌年、望東尼は晋作の死を看取ることになりました。晋作が死の床で筆をとり、

「面白い 事もなき世も おもしろく」(面白いことのない世の中を面白くするにはどうしたらいいのだろうか)と詠むと、望東尼が、

「住みなすものは 心なりけり」(四圍の状況がどうあるかということではなく自分がどう思うかである、それは心のおきどころ次第である)と続け、それを見た晋作が「おもしろいのう」と笑って最期を飾ったと言われています。晋作亡き後、一八六七年、体調を崩した望東尼も、六十二年の生涯に幕を閉じました。

幕末の時代を女流歌人として、また、夫亡き後は、勤王の道を歩んだ望東尼。最後に次の歌を紹介します。

「ひとすじの 道を守らば たおやめも ますらおのこに おとりやはする」(一途に信念を貫けば女性も男性に劣りはしない)

この歌は、若い女性に贈る歌として『向陵集』の中で詠まれています。激動の時代をたくましく生き抜いた望東尼だからこそ、詠める歌だと思いませんか。そしてまた、これから生き抜く女性への応援歌として残した歌のようにも感じさせられます。

◇野村望東尼の作品紹介

『向陵集』二十七才から六十才までに詠んだ歌集。歌数一八〇首余り。
『木葉日記』貞實の姪いさ子とその夫明石行敏との間に生まれた二女ゆく子の死をめぐる哀悼の記。
『上京日記』大阪に行き、京都に移る

平尾山荘周辺マップ



までの旅日記。
『夢かそへ日記』流刑の宣告を受けた日から書きだした日記。
『ひめしまにき』姫島流罪中の日記。
五作品を挙げましたが、入手は困難のようので、図書館に行かれると、関連資料などが閲覧できるようです。

くもつ 供物・供花

今回は、供物、供花をお供えする際の心得をまとめてみました。

その前に、「ご先祖様を供養する」と言いますが、「供養」とは、一体どういう意味なのでしょうか。

『岩波仏教辞典』によると、「供養」とは「仏・法・僧の※¹三宝や父母・師長・亡者などに※²香華・※³灯明・飲食・資材などの物を捧げること」とあります。

また、供養に用いられる物の基準となっているのは、密教の「六種供養」の「水（＝閼伽）・塗香・花（＝華曼）・焼香・飲食・灯明」です。これらは私たちが今日でも用いているものばかりで、飲食が果物などの供物、花が供花に当たります。

つまり、供物や供花をお供えすることとは「供養」するという事に繋がるのです。

お供えする供物や供花は、地域や宗教、宗派によって内容やしきたりが異なります。事前に確認することが大切です。

宗教別の供物、供花は次の通りです。

宗教	供物	供花
キリスト教	供えない	生花、花束
神式	果物、菓子、海産物（鮮魚や乾物）、清酒	生花、花束、神
仏式	線香、抹香、ロウソク、果物、菓子、五穀など	生花、花束

仏式は、前記のものが一般的ですが、生花や故人の好物を供える風習もあります。

神式では、線香や抹香をたく習慣はありません。鮮魚や乾物などの海の幸と、野菜や果物などの山の幸と、清酒を供えます。

キリスト教カトリックの場合、供物は供えません。プロテスタントの場合も生花のみお供えします。カーネーションや小菊など、小ぶりの白い花が多いようです。

供物をお供えする際は、できるだけ日持ちのするものを選ぶように心がけなければいけません。先程述べたように生前に故人が好んで口にしていたものをお供えするのも一考です。

最近では、時代を反映してなのか、インスタントラーメンやお惣菜などがお供えされているところもちらほら見受けられますが、賞味期限を過ぎたものまでお供えしてあるのには考えさせられます。

飲食は、私たち人間が成長するため必要不可欠なものです。ご先祖様を飢餓から救い感謝するのが供物であり、お供えする際は気をつけなければなりません。

供物や供花をお供えするには、厳肅かつ礼節を重んじたマナーが求められます。形だけでなく、ご先祖様に感謝し供養すること、心から哀悼を表す心配りが自然とできるようになればいいと思います。

お墓へのお供え物に関する注意点を紹介します。

① 故人の好きだった「お酒」を墓石にかける方がいらっしやいます。化学変化で墓石が変色することがありますので、かけた場合は拭き取りましょう。

② アルミ缶を墓石の上に置くと、缶の跡ができてしまい、スチール缶の場合は、さらにサビがしみ込んでしまいます。墓石の上には飲み物などの缶類を置いていかない方が良いでしょう。

③ お供えした供物を置いていかれる方がいらっしやいますが、カラスなどが来て食べ散らかしてしまいます。お供えした供物は、お参りが済んだら持ち帰るのが良いでしょう。



※1… 悟りの体現者である「仏」（如来）、仏の説いた教えを集成した「法」、法を学ぶ仏弟子の集団である「僧」のことで、仏教において最も敬うべきものとされている。

※2… 仏前に供える香と草木の花。

※3… 神や仏に供える灯火。

参考： <http://ja.wikipedia.org/wiki/>

町名 散歩

平尾 山荘通

第十三回

福岡市中央区平尾には『山荘通』という地名と、県道五五五号線の通称名『山荘通り』が在ります。これは幕末の女流歌人であり勤王家であった野村望東尼（※第一面参照）の隠棲の地『平尾山荘』に由来するものです。

そもそも平尾は明治時代まで那珂郡平尾村と呼ばれており、平尾山荘通や浄水通、福岡市動植物園を擁する南公園近辺の丘陵地一帯は大休山と呼ばれる山でした。福岡城南裏から続いたこの山。ご城下はもとより能古島、志賀島までもが一望できたとか。『筑前国続風土記』（元禄十六年『一七〇三』貝原益軒）には、次のように記されています。

「大休山から見た風景は天下に名高き須磨、明石、和歌浦、天橋立、厳島、諸所の佳景といえどもこれに及ぶものはあるまい」

幕末、山深かったであろうこの一帯も一八八九年の市町村制施行の際に、現在の南区と中央区にまたがる那珂郡八幡村の一地域となり、一九二六年八幡村が福岡市に編入された際に福岡市となりました。現在では高級住宅街として知られています。

薬院大通りから浄水通りへ入って行くと、浄水緑地前の交差点に出ます。これを左折し、緑と緑を繋ぐように伸びる街路を進めば左手に山荘公園、右手に山荘跡が見えて来ます。跡地には復元された山荘や望東尼の胸像他石碑が点在しており、併設する管理棟ではちよつとした資料を拝見することができます。

知る人ぞ知る山荘ですが、この程近所に開園した『松風園』（旧田中丸邸を全面改修した福岡市の日本庭園。平成十九年七月一日より一般公開。入園料…大人百円・小人五十円）の影響もあって、立ち寄る人が増えつつあるそうです。

住宅街にありながら、今尚緑美しいこの地域。動植物園と併せて、お散歩コースにいかがでしょうか？

第6回「松ぼっくり杯」ゴルフコンペ開催のご案内

開催日時：平成19年11月24日(土) AM8:33 (※集合8:00)

コース：福岡サンレイクゴルフ倶楽部 ベストアメニティコース

住所：福岡県みやま市高田町上楠田1519-2、電話：0944-22-3309

(※九州自動車道南関インターより車で10分・福岡市内より60分)

参加費：7,900円(税込)※プレイ費・パーティ費・カート費込み。食費は含まず。

募集人数：24名(6組) 予定

お申し込み：同封のハガキにてお申し込み下さい。

締め切り：平成19年10月31日(水) 必着

◎詳細は後日、参加者の方にお知らせいたします。

★皆様是非!毎回なごやかな感じで、初心者の方もご参加いただいております。ご家族・お友達とお誘いあわせの上、ふるってご参加下さいませ。★

お問合せ：☎0120-245400 担当：古川・森
(092-957-3500)



お便りコーナー

いつもお便りありがとうございます。今回は、ハイキングでのご感想を紹介させていただきます。今後たくさんのお便りをお待ち致しております。

▼松本様より。俳句を頂戴しました!

杵島岳
風薫る のつべらぼうの 山の上



◀ 町井様より。
楽しんで頂けたようで幸いです。

第2回初夏のハイキングのご報告

5月19日(土)、熊本県阿蘇杵島岳(1,270m)。スタッフ6名を含めた31名が参加しました。

「登山の店シェルパ」スタッフのご指導のもと、準備体操をし、草千里登山口から石の階段が続く道をゆっくりと登って行きました。頂上では、雲間から見える阿蘇中岳の火口や、草千里の後方に佇む烏帽子岳などの絶景を見ながら、おいしいお弁当を頂きました。下山してからは、白水瑠璃温泉につかり、ふるさと市場で買い物をして帰途につきました。天候も崩れることなく、楽しく充実したハイキングとなりました。後日、また参加したいとお電話やお手紙を頂きました。

次回もたくさんのご参加をお待ちしております!



プレゼント当選者発表

厳正なる抽選の結果、次の方々が当選されました。たくさんのご応募ありがとうございました。

- ①商品券5,000円分
大藪龍介様、播磨道代様、宇高慶夫様、岩津實様
- ②ホークス観戦ペアチケット
安田輝光様、中村康男様
- ③一保堂茶舗の極上煎茶
谷口緑様、他14名様
- ④篆刻セット
大屋克文様、他7名様
- ⑤松屋の鶏卵素麺
香月春彦様、他14名様

